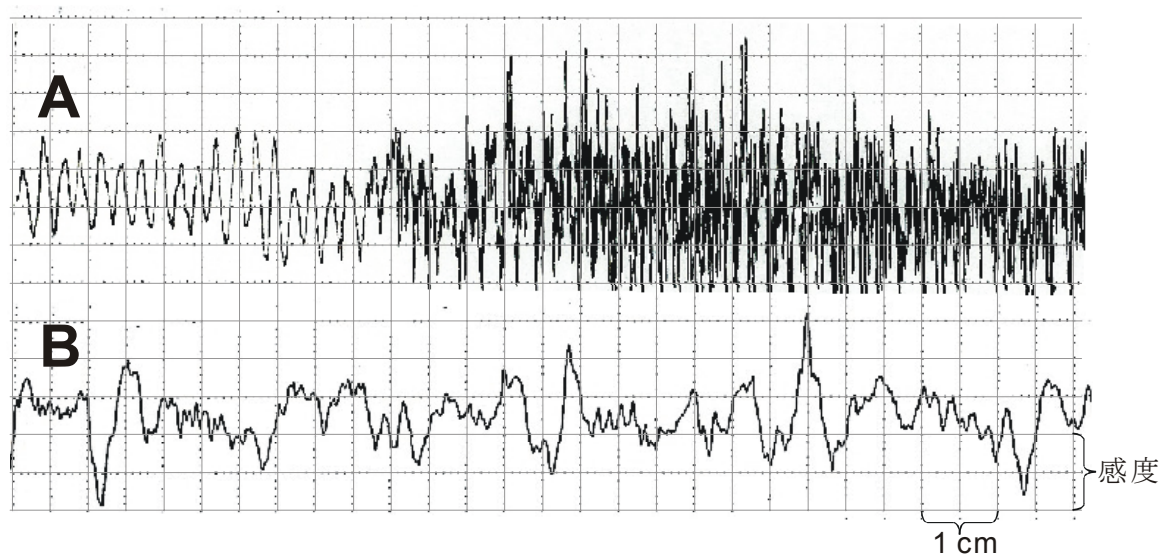


「2 枚目を使用すること」と書かれている問題(4 問)については、2 枚目の用紙に解答を書き入れること。

I. 右の記録は今回の実習中に、電極位置 Pz から記録した脳波です。

- 電極位置 Pz の決め方を、説明しなさい。図を用いてもよい。(2 枚目を使用すること) (2 点)
- Pz に電極をつける時の手順、及び注意点を説明しなさい。(2 枚目を使用すること) (2 点)



- この記録を行う記録条件は、どのように設定するのが最も適切か。右表の下線部の 4 つの選択肢のうち、適当なもの一つに○をつけなさい(2 点)。

感度	紙送り速度	Low cut filter	High cut filter
<u>5 μV、50 μV</u>	25 mm/s	<u>0.5 Hz、5 Hz</u>	30 Hz
500 μV、5mV		<u>10 Hz、100 Hz</u>	

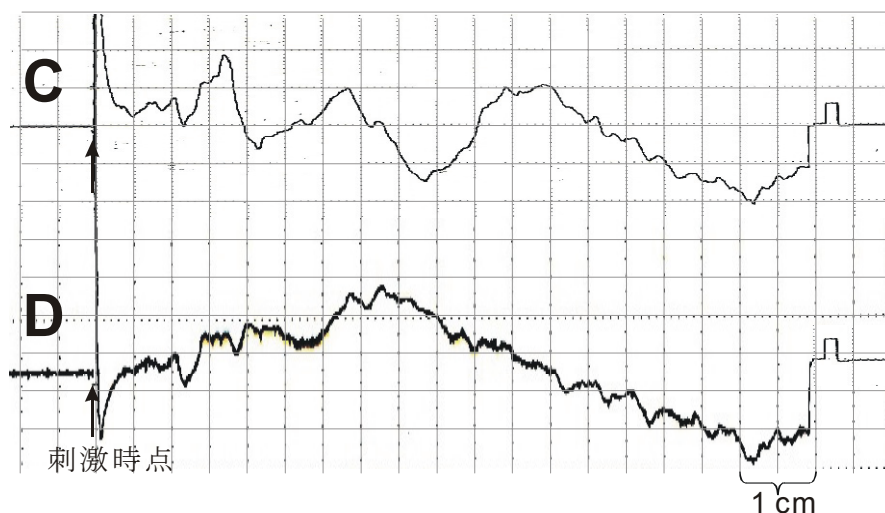
- 記録に横目盛り(時間軸)を書き入れなさい。(枠の 1 目盛りは、5 mm を示す) (1 点)
- 上の記録で、α波の出現している部分にマークを入れなさい。何ヶ所か出ている場合は、連続して三周期以上出現している 1ヶ所 だけに、マークを入れること。(1 点)
- マークを入れた部分について、右の表をうめて α波の周波数を求めなさい(3 点)。

α波の出現している時間 (単位：秒)	出現している α波の 周期数(単位：周期)	左の値から求めた α波の 周波数(単位：Hz)

- A と B を記録した時、被験者はどのような状態であったと考えられるか。最も可能性がある状態を、それぞれ書きなさい。ただしどちらか片方の記録にのみ、アーチファクトが混入している。(2 枚目を使用すること)(4 点)

II. 下の記録は、今回の実習で記録された体性感覚誘発脳波です。なお記録は下表の検査条件で、左右脳上から同時に行っています。なおもう一度行った加算でも、同様の波形が記録された。

感度	Low cut filter	High cut filter
10 μV	0.5 Hz	1k Hz
解析時間	正中神経刺激	紙送り速度
100 msec	左手首	50 mm/s



- 図で、右脳からの記録は C、D どちらか。(1 点)

解答 (_____)

- 記録条件を参考に、上の記録に横目盛り、縦目盛りを入れなさい。縦目盛りに関しては、どのように決定したか分かるように書きこむこと。なお記録には、実習中と同様、感度の 1/10 の校正電圧が入っている(2 点)。

- 右脳からの記録に、右表のピークが見られるか。見られる場合は記録にピークを示すマークを入れ、右表に潜時(刺激からの時間)を書き入れなさい。ピークが見られない場合は、表に「不明」と書き入れよ (3 点)。

ピーク	N ₂₀	P ₂₅	N ₃₅
潜時 (msec)			

- ピークはどのように決定したか。決定する方法を、説明しなさい。(2 枚目を使用すること) (2 点)

- 表のピークは、脳のどの部位の活動を反映すると考えられているか。(2 点)

解答 (_____)

I.

電極位置 Pz の決め方

電極のつけ方

被験者の状態

A

B

II.

体性感覚誘発脳波のピークの決め方